

WHO ファクトシート

オンコセルカ症

Onchocerciasis

2018年11月23日

重要な事実

- ・一般に「河川盲目症」として知られているオンコセルカ症は、回旋糸状虫という寄生虫によって引き起こされる
- ・この疾病は、感染したシミリウス属のブユ(ブヨに繰り返し刺されることによりヒトに伝染する)。
- ・この症状は、激しい痛み、皮膚の変形や視力障害を伴い、恒久的な失明もありうる。
- ・感染者の99%以上はアフリカ31カ国に住んでいる。ラテンアメリカとイエメンにもいくつかの疾病出現箇所がある。
- ・イベルメクチンによるコミュニティ主導の治療が、アフリカでのオンコセルカ症根絶への基本戦略である。アメリカ諸国での戦略は、半年ごと大規模でのイベルメクチン投与である。
- ・コロンビア、エクアドル、メキシコ及びグアテマラの4か国において、数十年に亘る活動の末、オンコセルカ症の根絶に成功したことをWHOが確認した。
- ・2017年の終わりまでに、さらにベネズエラボリビア共和国、ウガンダ、スーダンの3か国が集団薬物治療プログラムを終了した。少なくとも、うち1つの流行地域でプログラム終了後3年間の調査が終了した。
- ・180万人が、もはやオンコセルカ症に対する集団的投与を必要としない地域で生活できている。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページのでも [全文の日本語訳](#)

(改定前) が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Onchocerciasis [詳細は WHO のページ \(英文\) へ](#)